我　歴
GAREKI stock in 女川 ～共鳴編～
開催趣意書

東日本大震災から間もなく5年を迎えようとしています。昨年はJR石巻線の全線復旧により利便性が増し、女川町へのアクセスがしやすくなりました。年末には、まちびらきの第二弾として駅前周辺のテナント型商店街「シーパルピア女川」の開業も伴い、「復興の町・女川」から「新しく生まれかわる町・女川」のイメージに変わりつつあると感じられます。

一方で、宅地造成の遅れや住民減少率が県内1位になるなど、課題が残されているのも現状です。町民の平均年齢も高く、若年層の町への不安もありますが、同時に、これから地域を支えていく世代としての責任もあると感じています。

2011 年に「音楽の力で女川町を元気にしたい」という思いで女川福幸丸を立ち上げ、我歴 stock in 女川を企画しました。今年の開催で6回目となりますが、その思いはまったく変わることはありません。音楽は人に元気を与えてくれるだけではなく、何かに立ち向かう勇気やきっかけを与えてくれるということを教えてくれました。そして、音楽を楽しんだ後の充実感とともに「また明日も頑張ろう」と思える活力を与えてくれます。

仕事や子育て、それぞれに日々頑張るべき立場があると思います。そのような同世代の若者にも我歴 stock に足を運んでもらい、純粋に音楽を楽しむ機会を作りたいと考えています。その場所にしか存在しない音楽を心と体で感じ、勇気や活力を得る。その得た力をそれぞれの生活において「頑張ろう」「挑戦してみよう」という日々の原動力にして欲しいと思っています。サブタイトルでもある「共鳴」のように、これからの未来を担う世代がこのイベントを通じて何かを感じ、行動にうつしていくための後押しとなれるよう、これからも邁進していきます。

平成 28 年 2 月 1 日

女川福幸丸（我歴 stock in 女川 ～共鳴編～実行委員会）